

# 磐石城商工時報

月三回發行 五、五、五  
發行所 磐石城商工時報社  
編輯部 磐石城商工時報社  
印刷部 磐石城商工時報社  
電話 五〇三  
新開定額 一部五錢  
一月五錢 三月十五錢

## 同情糾然として集る

### 佐川候補の推薦状

#### 新進氣鋭の各氏から

佐川候補に對する同情は糾然として集り日に優勢を傳へられてゐるが、四家秀行、木田彌平、門馬安次郎、門馬公平、佐藤作平各氏の次の如き推薦状を有権者に送つた。

#### 推薦状

拜啓初春の候各位御清慶慶賀の至りに存じます、却説來る廿日の衆議院議員選挙に際し畏友佐川君立候補せられたるは誠に悦とする所であり、同君は舊平藩士にして本郡好間村出身、多年大阪市に於ける法曹界の權威として令名あり、殊に政界に大いなる刺戟を興へたる彼の松島遊廓事件の摘發を敢行し中央政界に於ては深く政治的訓練を經其政治的手腕に至つては人後

に陥らざる人物として辱しからざるものと固く信する者であります、况んや同君は在來の職業的政治家と其撰を異にし、至誠純真なる政治家として眞に大衆の伴侶として推薦措かざるものであります、其人格と識見の高邁なる点に於て等しく敬意を拂ふと同時、將來ある政治家として吾人の推薦措く能はざるものであります、故に吾人は小感情や局限された政黨の域から蟬脱し政黨政派を超越して多數民衆を基礎として立候補せる同君の爲めに至誠を以て應援する所以であります、何卒深厚なる御同情の上御後援投票被下様略儀乍ら書中を以て御依頼申し上げます、敬具

(平町田町二渡邊源吉)

## 奇策縦横にして

### 佐川候補優勢

#### 郷土人舉げつて

#### 同氏の爲め日夜奮闘

普通當初の總動員は將に大衆の中原の鹿を射止めんとして猛烈なる争奪戦を開始された、其結果は未だ豫想に許されざる混

本縣第二區の逐鹿場には既に木村清治(政)佐川潔(中)比佐昌平(民)松本孫右衛門(政)比佐昌平(民)山田忠正(中)の六氏とも見られてゐる、而して六名

の候補者中佐川潔氏は中立を標榜し飽遠理想選挙を旗幟として堂々たる戦陣を張つてゐる

#### 佐川候補

は舊平藩士にして現在では好間村に現住所を置き十年以來大阪市に居住して同市法曹界に於ける權威として頗る信認が厚い氏は故陸軍大尉佐川和風氏の三男にして長兄佐川沙氏は元第廿九聯隊陸軍大尉である、氏は平小學校、警中を卒業し、第二高等學校を卒へ東京帝大法科を卒業し現に大阪辯護士會常議員會議員であり且つ朝鮮人法律保護協會會長

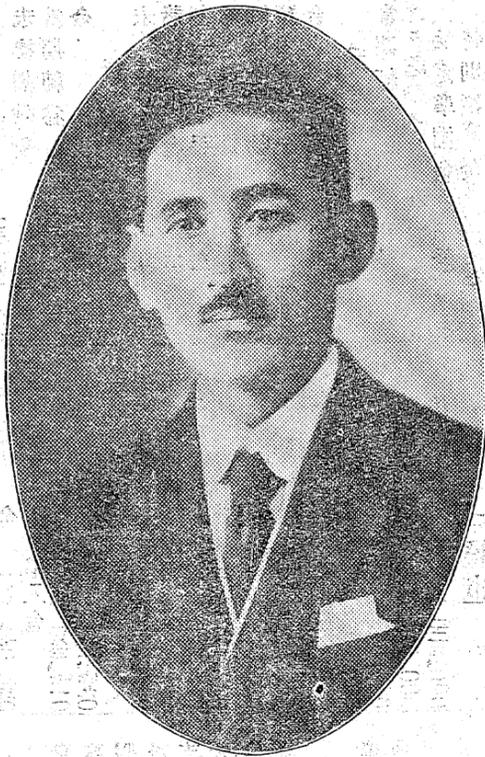
## 立候補の御挨拶

親愛なる各位、時代は駁々として進み吾れらの理想空からず、茲に普選の幕は愈々開かれました、不肖佐川潔は此の意義深き總選挙に當り、而かも我が郷里より候補者として親しく各位の前に立ち得ました事は、まことに光榮と存じ感謝に堪へない次第であります、今や我が政界は正に一大回轉期に逢進し是れより立憲政治の眞に運行が見られねばならぬ、従つて眞摯なる政治の施行、高潔なる政治家の輩出を要し、黨略主義に没頭し、利權獲得に汲々たる職業政治家を排し、徒らに政權争奪を事とせず、公明正大なる民衆政治を樹立し、明るい新日本を建設すべき時運に際會致しました、私は由來一法曹にすぎません、從來一意法律事務に専念して参りましたが、近來の所謂政治家の舉措に對して座視するに忍びない事が多々あります、國民生活の現狀、國家の將來のため憂憤を深うするものがあります、茲に私は有志の切なる御薦めに従ひ不肖短才誠に潜越ながら躍起したる次第であります、もとより私は一個の勤勞者で極めて微力加ふるに力なる後援も地盤もあることなく、剩へ強敵四方を閉ざし全く進退の自由を欠く次第であります、只私は盡忠報國の至誠と自家不動の確信とを各位の前に披瀝して御同情を希ひ、ひたすら純真なる理想に向ふて奮進するのみであります、濱三郎の住民並びに有権者各位、どうか私たちの今の境界、血の滲み出るやうな思ひで孤軍奮闘する吾れらに後援を賜はらんことを切に御願ひ致す次第であります、尙私は平町に法律事務所を設け法律事務に従事致す決心であります、

昭和三年二月

佐川

潔敬白



故陸軍大尉佐川和風、同ハル二男  
(元第廿九聯隊附)陸軍大尉佐川沙弟  
平尋常高等小學校修業  
磐石城青年學校講師  
第二高等學校卒業  
東京帝國大學法科卒業  
法學士、辯護士  
大阪辯護士會常議員會議員  
朝鮮人法律保護協會會長  
財界革新聯盟理事  
大阪石城會會長

## 政見の要項

- 國民外交ノ確立
- 滿蒙政策ノ確立
- 支那南軍交戰團體承認
- 對米對露外交一新
- 農村振興策ノ確立
- 肥料國營
- 小作法制定
- 移民獎勵
- 義務教育費全額國庫負擔
- 産業ノ開發殊ニ水産業發展策確立
- 國立水産銀行設立案
- 殖民政策ノ確立
- 交通政策ノ徹底
- 中等學校増設
- 國軍ノ充實
- 下士卒待遇改正
- 貴族院改革
- 銀行條例改正
- 刑事訴訟法改正
- 裁判官殊ニ裁判所書記待遇改善
- 檢察廳ノ獨立
- 積極的勞働立法ノ完成
- 失業救濟制度ノ確立並ニ健康保險法改正
- 最低賃銀法(生活賃銀法)ノ制定
- 朝鮮統治策審議會設立案
- 朝鮮人内地居住及勞働ニ關スル法案制定

福島縣平町田町五番地(電話七五九番)  
福島縣平町田町三番地(電話三〇九番)  
事務所 選舉所  
源邊二町(吉)